

9年8月9日 市警ニュース

JSS 和訳

安全警報;警察はインターネットを通じた詐欺の捜査で一般の協力を求めている

市警は、ネット経由の詐欺に関する捜査が進行中であることを公表する。

報告によれば;

- 犯人は、(記者注 他人の) e-mail アカウントに侵入し、パスワードを変更することで、アカウント所有者のアクセスを不可にする。
- その上で犯人は正規のアカウント所有者を装って、英国のバーミンガムなどの外国の都市で動けなくなってしまったという内容のメールを、アカウント所有者の住所録に記録されている人にグループメールで送る。
- 犯人はアカウント所有者の友人や仲間に、Western Union の口座経由で現金を送るよう懇願する。
- メールを受け取った人が返事を出すと、短いメールを送り返し、至急現金を送るよう嘆願する。

警察は、受けたメールの内容と発信場所を吟味し、又パスワードや個人情報を送らないよう薦めている。

本件に関わる情報を持っている人は警察(電話 416-808-5300)、または匿名でクライムストッパーズ(電話 416-222-TIPS (8477)、オンライン www.222tips.com)またはテキストTOR でメッセージを CRIMES (274637)まで連絡されたい。

JSS 説明

インターネットを利用した詐欺事件は後を絶たない。

最近公表された CISC (Criminal Intelligence Service of Canada) の Annual Report によると、組織犯罪が行ういわゆるプラスチックマネーにまつわる詐欺事件の推定被害総額は、カナダ全国で 500 ミリオンドルを超える状況である。犯行はデビットカード、クレジットカードなどの偽造によるものが大半を占めるが、偽造のための個人情報詐取は、その多くがインターネットを通じて行われるとしている (ATM に詐取のための付加装置を装着して行うスキミングなども広く行われている) と言う。その利便性、犯行の身元が判明しにくい点などが、犯罪に利用される理由であるとされる。

同様な理由で、インターネットが犯罪に利用されるケースは少なくない。訳出したケースでもその特質が根拠になっているようだ。又このケースでは、国際的な現金のやり取りが比較的簡便に行える Western Union のシステムが活用されている。